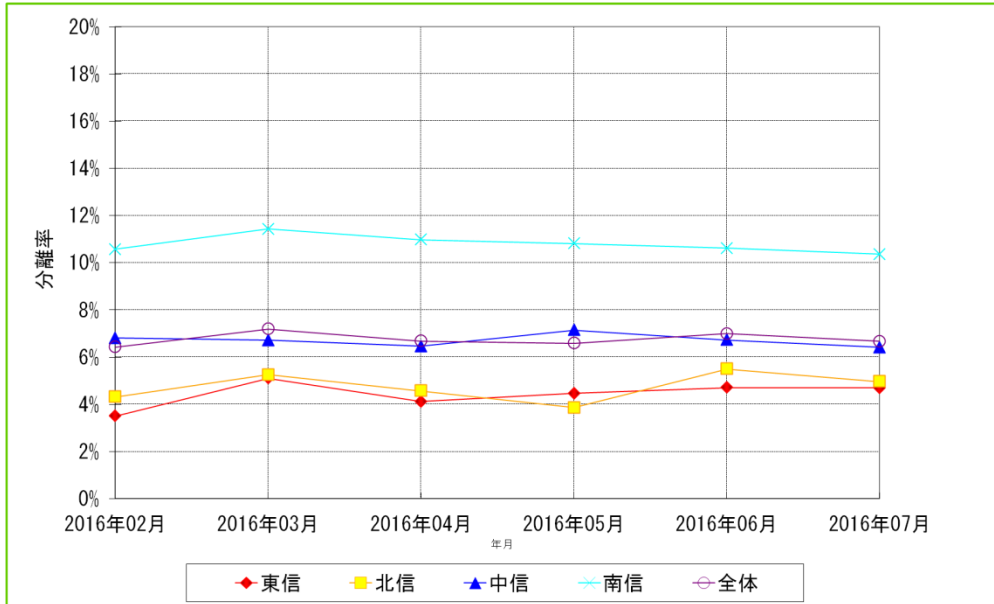


長野県各地区の耐性菌分離率

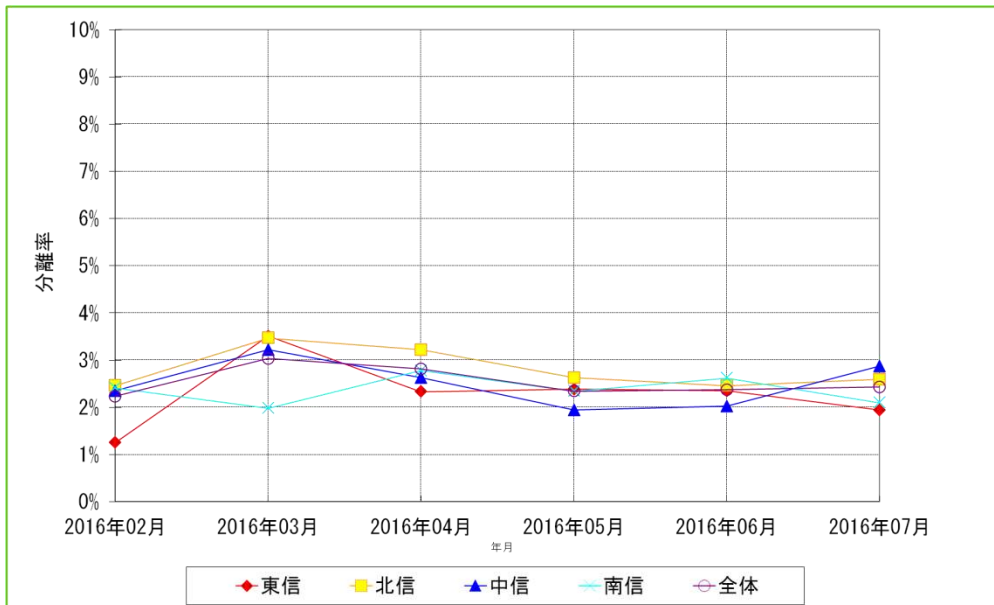
- 対象期間 : 2016年2月～2016年7月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2016年8月26日
- 集計対象施設数 : 55施設

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)



	2016年02月			2016年03月			2016年04月			2016年05月			2016年06月			2016年07月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	800	28	3.50%	941	48	5.10%	900	37	4.11%	965	43	4.46%	1020	48	4.71%	979	46	4.70%
北信 計	1785	77	4.31%	1845	97	5.26%	1707	78	4.57%	1786	69	3.86%	1746	96	5.50%	1735	86	4.96%
中信 計	1189	81	6.81%	1398	94	6.72%	1332	86	6.46%	1440	103	7.15%	1485	100	6.73%	1496	96	6.42%
南信 計	1372	145	10.57%	1461	167	11.43%	1439	158	10.98%	1452	157	10.81%	1488	158	10.62%	1428	148	10.36%
全体 計	5146	331	6.43%	5645	406	7.19%	5378	359	6.68%	5643	372	6.59%	5739	402	7.00%	5638	376	6.67%

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌



	2016年02月			2016年03月			2016年04月			2016年05月			2016年06月			2016年07月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	800	10	1.25%	941	33	3.51%	900	21	2.33%	965	23	2.38%	1020	24	2.35%	979	19	1.94%
北信 計	1785	44	2.46%	1845	64	3.47%	1707	55	3.22%	1786	47	2.63%	1746	43	2.46%	1735	45	2.59%
中信 計	1189	28	2.35%	1398	45	3.22%	1332	35	2.63%	1440	28	1.94%	1485	30	2.02%	1496	43	2.87%
南信 計	1372	33	2.41%	1461	29	1.98%	1439	40	2.78%	1452	34	2.34%	1488	39	2.62%	1428	30	2.10%
全体 計	5146	115	2.23%	5645	171	3.03%	5378	151	2.81%	5643	132	2.34%	5739	136	2.37%	5638	137	2.43%

長野県各地区の耐性菌分離率

- 対象期間 : 2016年2月～2016年7月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2016年8月26日
- 集計対象施設数 : 55施設

多剤耐性緑膿菌(MDRP)

	2016年02月			2016年03月			2016年04月			2016年05月			2016年06月			2016年07月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	800	0	0.00%	941	1	0.11%	900	0	0.00%	965	0	0.00%	1020	0	0.00%	979	0	0.00%
北信 計	1785	1	0.06%	1845	1	0.05%	1707	1	0.06%	1786	0	0.00%	1746	0	0.00%	1735	0	0.00%
中信 計	1189	0	0.00%	1398	0	0.00%	1332	3	0.23%	1440	2	0.14%	1485	0	0.00%	1496	1	0.07%
南信 計	1372	1	0.07%	1461	1	0.07%	1439	2	0.14%	1452	1	0.07%	1488	2	0.13%	1428	1	0.07%
全体 計	5146	2	0.04%	5645	3	0.05%	5378	6	0.11%	5643	3	0.05%	5739	2	0.03%	5638	2	0.04%

抽出条件・統計処理

- ・対象期間の入院患者を対象とする。
- ・重複処理は患者IDが同じ場合1件とカウントする。
- ・耐性菌の分離率＝[(菌分離患者数)÷(検体提出患者数)]×100(%)
- ・過去月分の分離データは集計日以降に送信されたデータも含む。
(過去のレポートデータと異なることがあります、ご了承ください。)

信州インфекションコントロールサーベイランスシステム(SICSS) 耐性菌判定基準

菌名	概要	微量液体希釈法	ディスク拡散法
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	MPIPCが“R”の <i>Staphylococcus aureus</i> (またはCFXがディスク拡散法で“R”)、又は選択培地でMRSAと確認された菌	MPIPC ≥ 4μg/mL	MPIPC ≤ 10mm CFX ≤ 21mm
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	下記条件をすべて満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・カルバペネム系が“R” ・アミカシンが“I”か“R” ・フルオロキノロン系が“R”(LVFX、CPFXのいずれか)	IPM・MEPM ≥ 8μg/mL AMK ≥ 32μg/mL LVFX ≥ 8μg/mL CPFX ≥ 4μg/mL	IPM、MEPM ≤ 15mm AMK ≤ 16mm LVFX ≤ 13mm CPFX ≤ 15mm
第3世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX、CTRX、CFPMのいずれかが“I”か“R”、又はCAZが“R”の <i>Escherichia coli</i>	CTX ≥ 2μg/mL CTRX ≥ 2μg/mL CFPM ≥ 16μg/mL CAZ ≥ 16μg/mL	CTX ≤ 25mm CTRX ≤ 22mm CFPM ≤ 17mm CAZ ≤ 17mm